



## 2023年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年4月26日  
上場取引所 東

上場会社名 日本ゼオン株式会社  
 コード番号 4205 URL <https://www.zeon.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 田中公章  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員 (氏名) 曾根芳之 TEL 03-3216-2747  
 定時株主総会開催予定日 2023年6月29日 配当支払開始予定日 2023年6月30日  
 有価証券報告書提出予定日 2023年6月29日  
 決算補足説明資料作成の有無: 有  
 決算説明会開催の有無 : 有 (証券アナリスト、機関投資家向け)

(百万円未満四捨五入)

### 1. 2023年3月期の連結業績(2022年4月1日～2023年3月31日)

#### (1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期	388,614	7.4	27,179	△38.8	31,393	△36.5	10,569	△68.4
2022年3月期	361,730	19.8	44,432	33.0	49,468	27.9	33,413	20.6

(注) 包括利益 2023年3月期 28,939百万円 (△16.5%) 2022年3月期 34,641百万円 (△17.2%)

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり当期純利益	自己資本当期純利益率	総資産経常利益率	売上高営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2023年3月期	49.94	49.92	3.2	6.2	7.0
2022年3月期	153.22	153.12	10.9	10.6	12.3

(参考) 持分法投資損益 2023年3月期 147百万円 2022年3月期 99百万円

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年3月期	522,868	339,308	64.3	1,591.79
2022年3月期	484,660	321,836	65.7	1,487.33

(参考) 自己資本 2023年3月期 336,310百万円 2022年3月期 318,623百万円

#### (3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2023年3月期	14,358	△28,899	△2,820	28,270
2022年3月期	33,140	△26,436	△11,883	44,521

### 2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額(合計)	配当性向(連結)	純資産配当率(連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2022年3月期	—	13.00	—	15.00	28.00	6,057	18.3	2.0
2023年3月期	—	18.00	—	18.00	36.00	7,606	72.1	2.3
2024年3月期(予想)	—	20.00	—	20.00	40.00		44.5	

### 3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日～2024年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	190,000	△3.8	7,500	△62.8	9,000	△63.1	6,000	△65.6	28.40
通期	399,000	2.7	24,000	△11.7	26,000	△17.2	19,000	79.8	89.93

※ 注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動): 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更: 有  
 ② ①以外の会計方針の変更: 無  
 ③ 会計上の見積りの変更: 無  
 ④ 修正再表示: 無

(注) 詳細は、添付資料P. 13「3. 連結財務諸表及び主な注記 (5) 連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更)」をご覧ください。

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2023年3月期	229,513,656株	2022年3月期	237,075,556株
② 期末自己株式数	2023年3月期	18,235,195株	2022年3月期	22,850,333株
③ 期中平均株式数	2023年3月期	211,628,684株	2022年3月期	218,062,526株

(参考) 個別業績の概要

1. 2023年3月期の個別業績(2022年4月1日～2023年3月31日)

(1) 個別経営成績 (%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期	253,626	△0.6	19,704	△45.3	24,547	△39.5	8,490	△69.8
2022年3月期	255,112	22.2	36,015	35.3	40,597	22.5	28,072	15.8

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期	40.12	40.10
2022年3月期	128.73	128.64

(2) 個別財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円		百万円		%	円 銭		
2023年3月期	421,857		247,899		58.7	1,172.91		
2022年3月期	402,682		240,125		59.6	1,120.31		

(参考) 自己資本 2023年3月期 247,811百万円 2022年3月期 239,999百万円

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

なお、業績予想に関する事項は、4ページ「1. 経営成績等の概況(4) 次期の見通し」をご覧ください。

(決算補足説明資料及び決算説明会内容の入手方法について)

当社は、2023年4月26日(水)に証券アナリスト・機関投資家向け決算説明テレフォンカンファレンスを開催する予定です。当日使用する決算説明資料については、開催に先立ち当社ウェブサイトに掲載する予定です。

## ○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当期の財政状態の概況 .....	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況 .....	3
(4) 次期の見通し .....	4
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方 .....	5
3. 連結財務諸表及び主な注記 .....	6
(1) 連結貸借対照表 .....	6
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書 .....	8
連結損益計算書 .....	8
連結包括利益計算書 .....	9
(3) 連結株主資本等変動計算書 .....	10
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書 .....	12
(5) 連結財務諸表に関する注記事項 .....	13
(継続企業の前提に関する注記) .....	13
(会計方針の変更) .....	13
(セグメント情報等) .....	13
(1株当たり情報) .....	18
(重要な後発事象) .....	18

## 1. 経営成績等の概況

## (1) 当期の経営成績の概況

## ①当期の概況

当期の経営環境を振り返りますと、インフレと金融緩和政策の転換による金融不安、それを受けた金利環境や株式市場の変動および消費者の購買心理の変化等により世界経済の動向に不確実性が高まる中、依然として緊張状態にある米中関係の影響やロシアのウクライナ侵攻による影響等も加わり、当社グループを取り巻く環境としては先行き不透明な状況で推移しました。

当社グループはこのような環境のもとで、「ZΣ運動」による徹底したコスト削減や、生産革新活動に注力するとともに、エラストマー素材事業におきましては採算性の重視と生産・販売のグローバル展開、高機能材料事業におきましては付加価値の高い新製品の開発と事業拡大に取り組んでまいりました。

この結果、当期の連結売上高は3,886億14百万円と前年同期間に比べて268億84百万円の増収、連結営業利益は271億79百万円と前年同期間に比べて172億53百万円の減益、連結経常利益は313億93百万円と前年同期間に比べて180億75百万円の減益、親会社株主に帰属する当期純利益は105億69百万円と前年同期間に比べて228億43百万円の減益となりました。

区 分	2023年3月期		2022年3月期		増減	
	金額(百万円)	構成比(%)	金額(百万円)	構成比(%)	金額(百万円)	率(%)
売上高	388,614	100.0	361,730	100.0	26,884	7.4
エラストマー素材事業	222,230	57.2	200,566	55.5	21,664	10.8
高機能材料事業	105,356	27.1	106,791	29.5	△1,436	△1.3
その他の事業	65,270	16.8	57,822	16.0	7,449	12.9
消去又は全社	△4,242	△1.1	△3,449	△1.0	△793	—

区 分	2023年3月期		2022年3月期		増減	
	金額(百万円)	売上高比(%)	金額(百万円)	売上高比(%)	金額(百万円)	率(%)
営業利益	27,179	7.0	44,432	12.3	△17,253	△38.8
経常利益	31,393	8.1	49,468	13.7	△18,075	△36.5
親会社株主に帰属する 当期純利益	10,569	2.7	33,413	9.2	△22,843	△68.4

## ②部門別の概況

## (エラストマー素材事業部門)

合成ゴム関連では、半導体不足等により自動車生産台数が伸び悩む中、国内販売は底堅い需要に支えられ堅調に推移しましたが、合成ゴムの主力生産工場の定期修理に伴い出荷量を調整した結果、輸出版売数量は前年同期間を下回りました。一方、原料及び燃料高騰等の価格転嫁が進んだことから、全体の売上高、営業利益はともに前年同期間を上回りました。

合成ラテックス関連では、期を通じて医療・衛生用手袋の流通在庫が過剰に推移し需給が大幅に緩んだことから、売上高、営業利益ともに前年同期間を下回りました。

化成品関連では、為替円安の影響並びに原料及び燃料高騰分の価格転嫁を進めたことにより、売上高は前年同期間を上回りましたが、期後半になって主用途である粘着テープの流通在庫が過剰になった影響に加え、棚卸資産関連費用を計上したこと等により、営業利益は前年同期間を下回りました。

以上の結果、エラストマー素材事業部門全体の売上高は前年同期間に比べて216億64百万円増加し2,222億30百万円、営業利益は前年同期間に比べて84億39百万円減少し101億84百万円となりました。

## (高機能材料事業部門)

高機能樹脂関連では、医療用途向けの需要は堅調に推移したものの、大型テレビ向け光学フィルムはパネルの流通在庫が過剰に推移した影響を受け、高機能樹脂関連全体の売上高、営業利益ともに前年同期間を下回りました。

電池材料関連では、中国経済低迷による需要落ち込みの影響を受けたものの、売上高は前年同期間を上回りました。一方、原料及び燃料高騰の影響や新製品開発費用の増加等により、営業利益は前年同期間を下回りました。

化学品関連では、合成香料、特殊溶剤用途ともに需要が堅調に推移したことに加え、為替円安の影響並びに原料及び燃料高騰分の価格転嫁を進めたことにより、売上高、営業利益ともに前年同期間を上回りました。

電子材料関連では、期後半になって半導体メーカーの稼働率低下が顕著となった影響を受け、売上高、営業利益ともに前年同期間を下回りました。

トナー関連では、テレワーク特需が一巡し流通在庫が過剰に推移した影響を受け、売上高、営業利益ともに前年同期間を下回りました。

以上の結果、高機能材料事業部門全体の売上高は前年同期間に比べて14億36百万円減少し1,053億56百万円、営業利益は前年同期間に比べて80億63百万円減少し182億96百万円となりました。

#### (その他の事業部門)

その他の事業においては、子会社の商事部門等の売上高が前年同期間を上回りました。

以上の結果、その他の事業部門全体の売上高は前年同期間に比べて74億49百万円増加し652億70百万円、営業利益は前年同期間に比べて64百万円増加し23億81百万円となりました。

### (2) 当期の財政状態の概況

当連結会計年度末のエラストマー素材事業の資産は、前連結会計年度末に比べ、108億85百万円増加し、2,342億61百万円となりました。当連結会計年度末の高機能材料事業の資産は、前連結会計年度末に比べ157億66百万円増加し、1,344億90百万円となりました。当連結会計年度末のその他及び全社資産等の資産は、前連結会計年度末に比べ、115億57百万円増加し、1,541億17百万円となりました。

以上の結果、当連結会計年度末の資産合計は、前連結会計年度末に比べ、382億8百万円増加し、5,228億68百万円となりました。

当連結会計年度末の負債合計は、前連結会計年度末に比べ、207億35百万円増加し、1,835億60百万円となりました。

当連結会計年度末の純資産合計は、前連結会計年度末に比べ、174億73百万円増加し、3,393億8百万円となりました。

### (3) 当期のキャッシュ・フローの概況

単位：百万円

	前連結会計年度	当連結会計年度	増減
営業活動によるキャッシュ・フロー	33,140	14,358	△18,783
投資活動によるキャッシュ・フロー	△26,436	△28,899	△2,463
財務活動によるキャッシュ・フロー	△11,883	△2,820	9,063
現金及び現金同等物に係る換算差額	1,494	1,111	△384
現金及び現金同等物の増加(△減少)額	△3,685	△16,251	△12,566
現金及び現金同等物の期首残高	48,152	44,521	△3,631
現金及び現金同等物の期末残高	44,521	28,270	△16,251

当連結会計年度末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ162億51百万円（前年度比36.5%減）減少し、282億70百万円となりました。

#### (営業活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度における営業活動による資金の増加は143億58百万円となり、前連結会計年度末に比べ187億83百万円の減少（前年度比56.7%減）となりました。前連結会計年度との差の主な要因は、売上債権の増減額が純増から純減へと転じたことにより資金が増加したものの、棚卸資産の純増加額が増加したこと及び仕入債務の純増加額が減少したことにより資金が減少したこと等によるものであります。

#### (投資活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度における投資活動による資金の減少は288億99百万円となり、前連結会計年度末に比べ24億63百万円の資金支出の増加（前年度比9.3%増）となりました。前連結会計年度との差の主な要因は、投資有価証券の売却による収入が増加したことにより資金が増加したものの、無形固定資産の取得による支出が増加したこと及び投資有価証券の取得による支出が増加したことにより資金が減少したこと等によるものであります。

## (財務活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度における財務活動による資金の減少は28億20百万円となり、前連結会計年度末に比べ90億63百万円の資金支出の減少(前年度比76.3%減)となりました。前連結会計年度との差の主な要因は、社債の償還による支出が増加したものの、コマーシャル・ペーパーの純増減額が増加したことにより資金が増加したこと等によるものであります。

当社グループのキャッシュ・フロー指標のトレンドは下記のとおりであります。

	2019年3月期	2020年3月期	2021年3月期	2022年3月期	2023年3月期
自己資本比率 (%)	60.3	63.5	65.8	65.7	64.3
時価ベースの自己資本比率 (%)	57.6	43.9	86.2	60.3	56.5
キャッシュ・フロー対有利子負債比率 (年)	0.6	0.7	0.3	0.6	1.9
インタレスト・カバレッジ・レシオ (倍)	184.6	215.5	441.7	248.5	145.8

(注) 自己資本比率：自己資本／総資産

時価ベースの自己資本比率：株式時価総額／総資産

キャッシュ・フロー対有利子負債比率：有利子負債／営業キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ：営業キャッシュ・フロー／利払い

※各指標は、いずれも連結ベースの財務数値により算出しております。

※株式時価総額は、期末株価終値×期末発行済株式数(自己株式控除後)により算出しております。

※営業キャッシュ・フローは連結キャッシュ・フロー計算書の営業活動によるキャッシュ・フローを使用しております。また、利払いについては、連結キャッシュ・フロー計算書の利息の支払額を使用しております。

## (4) 次期の見通し

次期の当社を取り巻く環境は、インフレと金融緩和と政策の転換による金融不安、それを受けた金利環境や株式市場の変動および消費者の購買心理の変化等により世界経済の動向に不確実性が高まる中、依然として緊張状態にある米中関係の影響やロシアのウクライナ侵攻による影響等の継続が見込まれることから、引き続き不確実な状況が続くものと予想されます。

このような環境のもと、次期の連結業績見通しについては、為替相場は130円/\$、ナフサ価格は64,000円/KLを前提として、売上高3,990億円(前期比2.7%増)、営業利益240億円(同11.7%減)、経常利益260億円(同17.2%減)、親会社株主に帰属する当期純利益190億円(同79.8%増)を見込んでおります。

(連結)

区 分	2024年3月期		2023年3月期		増減	
	金額(百万円)	構成比(%)	金額(百万円)	構成比(%)	金額(百万円)	率(%)
売上高	399,000	100.0	388,614	100.0	10,386	2.7
エラストマー素材事業	218,000	54.7	222,230	57.2	△4,230	△1.9
高機能材料事業	116,000	29.1	105,356	27.1	10,645	10.1
その他の事業	69,200	17.3	65,270	16.8	3,930	6.0
消去又は全社	△4,200	△1.1	△4,242	△1.1	42	—

区 分	2024年3月期		2023年3月期		増減	
	金額(百万円)	売上高比(%)	金額(百万円)	売上高比(%)	金額(百万円)	率(%)
営業利益	24,000	6.0	27,179	7.0	△3,179	△11.7
経常利益	26,000	6.5	31,393	8.1	△5,393	△17.2
親会社株主に帰属する 当期純利益	19,000	4.8	10,569	2.7	8,431	79.8

## 2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、国際会計基準に基づく連結財務諸表を作成するための体制整備の負担等を考慮し、当面は、日本基準で連結財務諸表を作成する方針であります。

なお、国際会計基準の適用につきましては、国内外の諸情勢を考慮の上、適切に対応していく方針であります。

## 3. 連結財務諸表及び主な注記

## (1) 連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当連結会計年度 (2023年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	47,271	30,082
受取手形及び売掛金	78,806	79,622
電子記録債権	3,692	3,972
商品及び製品	66,076	97,345
仕掛品	6,652	7,657
原材料及び貯蔵品	20,348	22,450
未収入金	41,156	43,816
その他	11,044	11,801
貸倒引当金	△99	△113
流動資産合計	274,947	296,631
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	46,706	41,912
機械装置及び運搬具（純額）	38,995	31,467
土地	18,151	15,393
建設仮勘定	10,153	20,425
その他（純額）	4,293	4,726
有形固定資産合計	118,299	113,924
無形固定資産		
その他	3,249	4,442
無形固定資産合計	3,249	4,442
投資その他の資産		
投資有価証券	80,729	100,113
退職給付に係る資産	18	1
繰延税金資産	616	728
その他	7,021	7,249
貸倒引当金	△219	△219
投資その他の資産合計	88,166	107,871
固定資産合計	209,713	226,237
資産合計	484,660	522,868



(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当連結会計年度 (2023年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	79,833	83,659
電子記録債務	3,161	3,122
短期借入金	8,960	8,960
コマーシャル・ペーパー	—	19,000
1年内償還予定の社債	10,000	—
未払法人税等	7,042	2,898
賞与引当金	2,823	2,625
修繕引当金	3,275	5,634
その他の引当金	100	47
その他	23,458	34,641
流動負債合計	138,653	160,587
固定負債		
繰延税金負債	3,243	2,272
退職給付に係る負債	13,602	13,759
修繕引当金	2,021	930
その他の引当金	69	46
その他	5,237	5,965
固定負債合計	24,172	22,973
負債合計	162,824	183,560
純資産の部		
株主資本		
資本金	24,211	24,211
資本剰余金	19,162	19,137
利益剰余金	272,679	268,363
自己株式	△23,000	△19,024
株主資本合計	293,053	292,688
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	21,186	31,538
繰延ヘッジ損益	2	△1
為替換算調整勘定	4,767	11,823
退職給付に係る調整累計額	△384	262
その他の包括利益累計額合計	25,570	43,623
新株予約権	126	88
非支配株主持分	3,086	2,910
純資産合計	321,836	339,308
負債純資産合計	484,660	522,868

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書  
(連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)	当連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)
売上高	361,730	388,614
売上原価	241,371	278,971
売上総利益	120,358	109,643
販売費及び一般管理費	75,927	82,464
営業利益	44,432	27,179
営業外収益		
受取利息	295	210
受取配当金	2,570	3,361
為替差益	1,664	661
持分法による投資利益	99	147
雑収入	1,041	794
営業外収益合計	5,670	5,172
営業外費用		
支払利息	130	85
休止固定資産減価償却費	154	232
投資事業組合運用損	—	346
寄付金	4	151
雑損失	346	145
営業外費用合計	634	958
経常利益	49,468	31,393
特別利益		
固定資産売却益	7	5
投資有価証券売却益	—	3,072
特別利益合計	7	3,077
特別損失		
固定資産処分損	703	347
減損損失	2,069	19,390
その他	478	267
特別損失合計	3,250	20,004
税金等調整前当期純利益	46,226	14,467
法人税、住民税及び事業税	12,489	9,758
法人税等調整額	31	△5,900
法人税等合計	12,520	3,858
当期純利益	33,706	10,609
非支配株主に帰属する当期純利益	293	39
親会社株主に帰属する当期純利益	33,413	10,569

(連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)	当連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)
当期純利益	33,706	10,609
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△4,734	10,353
繰延ヘッジ損益	0	△3
為替換算調整勘定	3,749	7,085
退職給付に係る調整額	1,913	646
持分法適用会社に対する持分相当額	7	250
その他の包括利益合計	936	18,330
包括利益	34,641	28,939
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	34,296	28,622
非支配株主に係る包括利益	346	317

## (3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)

(単位:百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	24,211	19,150	244,301	△17,017	270,644
会計方針の変更による累積的影響額			△343		△343
会計方針の変更を反映した当期首残高	24,211	19,150	243,957	△17,017	270,301
当期変動額					
剰余金の配当			△5,250		△5,250
親会社株主に帰属する当期純利益			33,413		33,413
自己株式の取得				△6,011	△6,011
自己株式の処分		12		29	41
合併による増加			103		103
連結範囲の変動			457		457
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	12	28,722	△5,982	22,752
当期末残高	24,211	19,162	272,679	△23,000	293,053

	その他の包括利益累計額					新株予約権	非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	繰延ヘッジ損益	為替換算調整勘定	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計			
当期首残高	25,919	1	1,001	△2,297	24,625	141	2,836	298,246
会計方針の変更による累積的影響額								△343
会計方針の変更を反映した当期首残高	25,919	1	1,001	△2,297	24,625	141	2,836	297,903
当期変動額								
剰余金の配当								△5,250
親会社株主に帰属する当期純利益								33,413
自己株式の取得								△6,011
自己株式の処分								41
合併による増加								103
連結範囲の変動								457
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△4,734	0	3,765	1,913	945	△15	250	1,181
当期変動額合計	△4,734	0	3,765	1,913	945	△15	250	23,933
当期末残高	21,186	2	4,767	△384	25,570	126	3,086	321,836

当連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)

(単位:百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	24,211	19,162	272,679	△23,000	293,053
当期変動額					
剰余金の配当			△7,016		△7,016
親会社株主に帰属する当期純利益			10,569		10,569
自己株式の取得				△3,990	△3,990
自己株式の処分		△5		76	71
自己株式の消却		△7,889		7,889	—
利益剰余金から資本剰余金への振替		7,869	△7,869		—
株主資本以外の項目の当期変動額 (純額)					
当期変動額合計	—	△25	△4,316	3,976	△365
当期末残高	24,211	19,137	268,363	△19,024	292,688

	その他の包括利益累計額					新株予約権	非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	繰延ヘッジ損益	為替換算調整勘定	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計			
当期首残高	21,186	2	4,767	△384	25,570	126	3,086	321,836
当期変動額								
剰余金の配当								△7,016
親会社株主に帰属する当期純利益								10,569
自己株式の取得								△3,990
自己株式の処分								71
自己株式の消却								—
利益剰余金から資本剰余金への振替								—
株主資本以外の項目の当期変動額 (純額)	10,353	△3	7,056	646	18,052	△38	△176	17,838
当期変動額合計	10,353	△3	7,056	646	18,052	△38	△176	17,473
当期末残高	31,538	△1	11,823	262	43,623	88	2,910	339,308

## (4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)	当連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前当期純利益	46,226	14,467
減価償却費	21,469	20,382
賞与引当金の増減額 (△は減少)	968	△286
修繕引当金の増減額 (△は減少)	33	1,268
受取利息及び受取配当金	△2,866	△3,571
支払利息	130	85
為替差損益 (△は益)	△678	△542
固定資産処分損益 (△は益)	696	348
投資有価証券売却損益 (△は益)	224	△3,063
売上債権の増減額 (△は増加)	△3,924	2,375
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△23,582	△31,087
仕入債務の増減額 (△は減少)	15,049	1,111
減損損失	2,069	19,390
その他	△14,853	3,885
小計	40,961	24,762
利息及び配当金の受取額	2,954	3,569
利息の支払額	△133	△99
法人税等の支払額	△10,691	△13,896
その他	50	21
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>33,140</b>	<b>14,358</b>
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△23,278	△23,564
有形固定資産の除却による支出	△120	△689
無形固定資産の取得による支出	△895	△3,056
投資有価証券の取得による支出	△1,500	△5,970
投資有価証券の売却による収入	3	5,045
貸付けによる支出	△1,361	△2,201
貸付金の回収による収入	153	1,478
定期預金の純増減額 (△は増加)	1,077	1,192
長期前払費用の取得による支出	△424	△774
その他	△90	△360
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△26,436</b>	<b>△28,899</b>
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
コマーシャル・ペーパーの増減額 (△は減少)	—	19,000
社債の償還による支出	—	△10,000
配当金の支払額	△5,250	△7,013
非支配株主への配当金の支払額	△110	△4
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△513	△814
自己株式の取得による支出	△6,011	△3,990
その他	0	0
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△11,883</b>	<b>△2,820</b>
現金及び現金同等物に係る換算差額	1,494	1,111
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△3,685	△16,251
現金及び現金同等物の期首残高	48,152	44,521
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	0	—
非連結子会社との合併に伴う現金及び現金同等物の増加額	53	—
現金及び現金同等物の期末残高	44,521	28,270

## (5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

## (会計方針の変更)

(時価の算定に関する会計基準の適用指針の適用)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第31号2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。)を当連結会計年度の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することといたしました。なお、連結財務諸表に与える影響はありません。

## (セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

## 1. 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行なう対象となっているものであります。

当社は、本社に製商品別の事業部を置き、各事業部は、取り扱う製商品について国内及び海外の包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しております。

したがって、当社は、事業部を基礎とした製商品別のセグメントから構成されており、「エラストマー素材事業」及び「高機能材料事業」の2つを報告セグメントとしております。

「エラストマー素材事業」は、合成ゴム、合成ラテックス及び化成品等を生産、販売しております。

「高機能材料事業」は、高機能樹脂、高機能部材、電子材料、電池材料、トナー、化学品及び医療器材等を生産、販売しております。

## 2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、連結財務諸表を作成するために採用される会計方針に準拠した方法であります。

報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。

セグメント間の内部収益及び振替高は市場実勢価格に基づいております。

3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産その他の項目の金額に関する情報及び収益の分解情報  
前連結会計年度 (自2021年4月1日 至2022年3月31日)

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	連結財務諸表 計上額 (注) 3
	エラストマー 素材事業	高機能材料 事業	計				
売上高							
顧客との契約から 生じる収益	200,566	106,791	307,358	57,822	365,179	△3,449	361,730
外部顧客への売上 高	197,619	106,756	304,375	57,355	361,730	—	361,730
セグメント間の内 部売上高又は振替 高	2,947	35	2,982	467	3,449	△3,449	—
計	200,566	106,791	307,358	57,822	365,179	△3,449	361,730
セグメント利益	18,623	26,360	44,982	2,318	47,300	△2,868	44,432
セグメント資産	223,375	118,724	342,099	42,008	384,107	100,553	484,660
その他の項目							
減価償却費	8,846	10,208	19,055	243	19,298	2,170	21,469
持分法適用会社へ の投資額	2,157	—	2,157	—	2,157	—	2,157
有形固定資産及び 無形固定資産の増 加額	9,493	10,596	20,090	291	20,381	2,521	22,902

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、R I M配合液、塗料等の販売等を含んでおります。

2. 調整額は以下のとおりであります。

(1)セグメント利益の調整額△2,868百万円は、セグメント間取引消去58百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△2,926百万円であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

(2)セグメント資産の調整額は、全社資産105,121百万円及びセグメント間消去△4,568百万円であります。

(3)その他の項目の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社資産に係るもの等であります。

3. セグメント利益は、連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。

4. その他の源泉から生じる収益の額に重要性がないことから、顧客との契約から生じる収益と区分して表示しておりません。

5. 一定の期間にわたり移転される財又はサービスから生じる収益は重要性がないことから記載しておりません。



当連結会計年度 (自2022年4月1日 至2023年3月31日)

(単位: 百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	連結財務諸表 計上額 (注) 3
	エラストマー 素材事業	高機能材料 事業	計				
売上高							
顧客との契約から 生じる収益	218,631	105,335	323,966	64,648	388,614	—	388,614
外部顧客への売上 高	218,631	105,335	323,966	64,648	388,614	—	388,614
セグメント間の内部 売上高又は振替 高	3,599	20	3,620	622	4,242	△4,242	—
計	222,230	105,356	327,586	65,270	392,856	△4,242	388,614
セグメント利益	10,184	18,296	28,480	2,381	30,861	△3,682	27,179
セグメント資産	234,261	134,490	368,750	41,778	410,529	112,339	522,868
その他の項目							
減価償却費	8,475	9,574	18,048	268	18,316	2,065	20,382
持分法適用会社へ の投資額	2,515	—	2,515	—	2,515	—	2,515
有形固定資産及び 無形固定資産の増 加額	8,527	18,220	26,747	764	27,511	6,534	34,045

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、R I M配合液、塗料等の販売等を含んでおります。

2. 調整額は以下のとおりであります。

(1)セグメント利益の調整額△3,682百万円は、セグメント間取引消去42百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△3,725百万円であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

(2)セグメント資産の調整額は、全社資産116,747百万円及びセグメント間消去△4,408百万円であります。

(3)その他の項目の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社資産に係るもの等であります。

3. セグメント利益は、連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。

4. その他の源泉から生じる収益の額に重要性がないことから、顧客との契約から生じる収益と区分して表示しておりません。

5. 一定の期間にわたり移転される財又はサービスから生じる収益は重要性がないことから記載しておりません。

## 【関連情報】

前連結会計年度（自2021年4月1日 至2022年3月31日）

## 1. 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

## 2. 地域ごとの情報

## (1) 売上高

(単位：百万円)

日本	北米	ヨーロッパ	アジア	その他	計
140,543	31,034	40,813	144,698	4,642	361,730

## (2) 有形固定資産

(単位：百万円)

日本	北米	ヨーロッパ	アジア	計
107,313	7,265	95	3,625	118,299

## 3. 主要な顧客ごとの情報

外部顧客への売上高のうち、連結損益計算書の売上高の10%以上を占める相手先がないため、記載はありません。

当連結会計年度（自2022年4月1日 至2023年3月31日）

## 1. 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

## 2. 地域ごとの情報

## (1) 売上高

(単位：百万円)

日本	北米	ヨーロッパ	アジア	その他	計
154,576	43,922	49,197	135,105	5,814	388,614

## (2) 有形固定資産

(単位：百万円)

日本	北米	ヨーロッパ	アジア	計
100,881	9,675	99	3,269	113,924

## 3. 主要な顧客ごとの情報

外部顧客への売上高のうち、連結損益計算書の売上高の10%以上を占める相手先がないため、記載はありません。

## 【報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報】

前連結会計年度（自2021年4月1日 至2022年3月31日）

(百万円)

	エラストマー 素材事業	高機能材料事業	その他	合計
減損損失	548	1,520	—	2,069

当連結会計年度（自2022年4月1日 至2023年3月31日）

(百万円)

	エラストマー 素材事業	高機能材料事業	その他	全社・消去	合計
減損損失	10,893	999	1,501	5,997	19,390

(注) 「全社・消去」の金額は、セグメントに帰属しない全社資産に係る減損損失であります。

## 【報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報】

前連結会計年度（自2021年4月1日 至2022年3月31日）

該当事項はありません。

当連結会計年度（自2022年4月1日 至2023年3月31日）

該当事項はありません。

## 【報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報】

前連結会計年度（自2021年4月1日 至2022年3月31日）

該当事項はありません。

当連結会計年度（自2022年4月1日 至2023年3月31日）

該当事項はありません。

## (1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)	当連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)
1株当たり純資産額	1,487.33円	1,591.79円
1株当たり当期純利益金額	153.22円	49.94円
潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額	153.12円	49.92円

(注) 1株当たり当期純利益金額及び潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)	当連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)
1株当たり当期純利益金額		
親会社株主に帰属する当期純利益金額 (百万円)	33,413	10,569
普通株主に帰属しない金額(百万円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益金額(百万円)	33,413	10,569
期中平均株式数(千株)	218,062	211,628
潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額		
親会社株主に帰属する当期純利益調整額 (百万円)	—	—
普通株式増加数(千株)	150	110
(内、ストックオプション)(千株)	(150)	(110)
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額の算定に含めなかった潜在株式の概要	—	—

## (重要な後発事象)

該当事項はありません。